

降誕後第2主日特祷

天の父よ、恵みに満ちたみ子は、ナザレにおいてこの世の家庭生活をともにされました。どうかみ助けによって、わたしたちが愛と服従で結ばれた聖なる家族として生活し、ついに天に備えられた住まいに至ることができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。**アーメン**

旧約聖書 エレミヤ書 31章7-14節

7 主はこう言われる。ヤコブのために喜び歌い、喜び祝え。諸国民の頭のために叫びをあげよ。声を響かせ、賛美せよ。そして言え。「主よ、あなたの民をお救いください、イスラエルの残りの者を。」8 見よ、わたしは彼らを北の国から連れ戻し地の果てから呼び集める。その中には目の見えない人も、歩けない人も身ごもっている女も、臨月の女も共にいる。彼らは大いなる会衆となって帰って来る。9 彼らは泣きながら帰って来る。わたしは彼らを慰めながら導き流れに沿って行かせる。彼らはまっすぐな道を行き、つまづくことはない。わたしはイスラエルの父となりエフライムはわたしの長子となる。10 諸国の民よ、主の言葉を聞け。遠くの島々に告げ知らせて言え。「イスラエルを散らした方は彼を集め羊飼いが群れを守るように彼を守られる。」11 主はヤコブを解き放ち彼にまさって強い者の手から贖われる。12 彼らは喜び歌いながらシオンの丘に来て主の恵みに向かって流れをなして来る。彼らは穀物、酒、オリーブ油羊、牛を受けその魂は潤う園のようになり再び衰えることはない。13 そのとき、おとめは喜び祝って踊り若者も老人も共に踊る。わたしは彼らの嘆きを喜びに変え彼らを慰め、悲しみに代えて喜び祝わせる。14 祭司の命を髓をもって潤しわたしの民を良い物で飽かせると主は言われる。

詩 編 第84編

- 1 万軍の主よ // あなたの住まいは麗しい
- 2 わたしの魂は主の庭を慕い // 心を込めてあなたの命を喜び歌う
- 3 万軍の神、わたしの王、わたしの神よ // あなたの祭壇の傍らに、雀は住みかを見つけ、燕は巣を作ってひなを育てる
- 4 幸せな人、あなたの家を住まいとし // 絶えずあなたをたたえる人
- 5 幸せな人 // あなたによって奮い立ち、巡礼を志す人
- 6 かれた谷を通るとき、彼らはそこを泉とし // 秋の雨の祝福を受ける
- 7 力から力へと強められて進み // シオンであなたを仰ぎ見る
- 8 万軍の神、主よ、わたしの祈りに心を留め // ヤコブの神よ、耳を傾けてください
- 9 神よ、わたしたちの盾よ // 油を注がれた者を顧みてください
- 10 あなたの庭で過ごす一日は、千日にもまさる // あなたに逆らう者の幕屋にとどまるより、あなたの家の門守としてください

- 11 神よ、あなたは光り輝く盾。恵みと栄えを与え // とがなく歩む者に幸せを拒まれない
12 神よ、万軍の主よ // あなたに寄り頼む人は幸せ

使徒書 エフェソの信徒への手紙 1章 3-6、15-19 節

3 わたしたちの主イエス・キリストの父である神は、ほめたたえられますように。神は、わたしたちをキリストにおいて、天のあらゆる霊的な祝福で満たしてくださいました。4 天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。5 イエス・キリストによって神の子にしようと、御心のままに前もってお定めになったのです。6 神がその愛する御子によって与えてくださった輝かしい恵みを、わたしたちがたたえるためです。

15 こういうわけで、わたしも、あなたがたが主イエスを信じ、すべての聖なる者たちを愛していることを聞き、16 祈りの度に、あなたがたのことを思い起こし、絶えず感謝しています。17 どうか、わたしたちの主イエス・キリストの神、栄光の源である御父が、あなたがたに知恵と啓示との霊を与え、神を深く知ることができるようにし、18 心の目を開いてくださるように。そして、神の招きによってどのような希望が与えられているか、聖なる者たちの受け継ぐものがどれほど豊かな栄光に輝いているか悟らせてくださるように。19 また、わたしたち信仰者に対して絶大な働きをなさる神の力が、どれほど大きなものであるか、悟らせてくださるように。

福音書 ルカによる福音書 2章 41-52 節

41 さて、両親は過越祭には毎年エルサレムへ旅をした。42 イエスが十二歳になったときも、両親は祭りの慣習に従って都に上った。43 祭りの期間が終わって帰路についたとき、少年イエスはエルサレムに残っておられたが、両親はそれに気づかなかった。44 イエスが道連れの中にいるものと思い、一日分の道のりを行ってしまい、それから、親類や知人の間を捜し回ったが、45 見つからなかったので、捜しながらエルサレムに引き返した。46 三日の後、イエスが神殿の境内で学者たちの真ん中に座り、話を聞いたり質問したりしておられるのを見つけた。47 聞いている人は皆、イエスの賢い受け答えに驚いていた。48 両親はイエスを見て驚き、母が言った。「なぜこんなことをしてくれたのです。御覧なさい。お父さんもわたしも心配して捜していたのです。」49 すると、イエスは言われた。「どうしてわたしを捜したのですか。わたしが自分の父の家にいるのは当たり前だということを、知らなかったのですか。」50 しかし、両親にはイエスの言葉の意味が分からなかった。51 それから、イエスは一緒に下って行き、ナザレに帰り、両親に仕えてお暮らしになった。母はこれらのことをすべて心に納めていた。52 イエスは知恵が増し、背丈も伸び、神と人ともに愛された。